研修会報告

“米国の CET 関連政策動向”

(Critical and Emerging Technology Trends in the U.S.)

講演者：NEDO ワシントン事務所　高木美香　所長

研修担当理事：須内　康吏
小暮　美怜

2023 年 9 月 21 日（木）、ワシントン日本商工会は、NEDO ワシントン事務所の高木所長をお迎えして、「米国の CET 関連政策動向」というテーマで、オンラインと対面のハイブリッド形式の研修会を開催しました。

現在米国と中国を中心に地政学的な緊張が高まっている中、米国の CET 技術と政策の動向には世界的に大きな関心が寄せられています。今回の研修では、まずトランプ政権からバイデン政権にかけた対中技術競争の変遷として、中国に対する米国のレトリックの変化と、トランプ政権からバイデン政権にかけ発動した大統領令や法規制などの概要を学びました。さらに、半導体、AI、量子、バイオという特に重要視されている分野の政策動向、そして最後に CET に関する米国の国際連携の状況についてお話いただきました。

最後に高木所長より、CET 関連技術のなかでもどの分野がクリティカルであり、どこで競争・協力をすべきか、基礎研究段階の技術はどこまでオープンにすべきか、輸出規制や投資規制は技術流出抑制に有効なのか、中国でないならどこに投資すべきかなど、考えなければならない課題が多数あることが述べられました。

我々商工会の会員の中にも、米中をはじめ世界中で CET 技術関連の事業を展開している企業が多くあります。我々も、世界情勢を正しく認識しながらリスク回避、機会創出のために戦略的に動いていく必要性を強く認識する大変良い機会となりました。

今回は商工会会員の関心が非常に高い研修会となり、参加者の会員の方々からも「体系的にまとまっていて非常に分かりやすかった」「密度の濃い内容だったので資料を読み込んで復習したい」等々、様々な反応をいただきました。

研修担当理事としては、このように会員の方々に有益と思っていただける研修会を企画、運営できたことは理事冥利に尽きると大変喜ばしく感じています。今後も様々なテーマを取り上げながら、新たな形式の研修会の運営にも挑戦するなど、さらに精力的に活動をしていきたいとの思いを強くしました。

以上